



令和6年7月22日
統合幕僚監部

(お知らせ)

ロシア海軍艦艇の動向について

令和6年7月19日（金）午後10時頃、海上自衛隊は、与那国島（沖縄県）の南西約130kmの海域において、同海域を北進するロシア海軍ステレグシチー級フリゲート3隻（艦番号「333」、「335」及び「343」）を確認した。

その後、19日（金）から20日（土）にかけて、これらの艦艇が与那国島と台湾との間の海域を北進し、魚釣島（沖縄県）の西約70kmの海域を北東進した後、21日（日）に対馬海峡を北東進し、日本海へ向けて航行したことを確認した。

なお、これらの艦艇のうち、ロシア海軍ステレグシチー級フリゲート（艦番号「333」）は、7月3日（水）から4日（木）にかけて対馬海峡を南西進した後、4日（木）から5日（金）にかけて大隅海峡を東進したものと、ロシア海軍ステレグシチー級フリゲート2隻（艦番号「335」及び「343」）は、7月8日（月）に対馬海峡を南西進した後、9日（火）から10日（水）にかけて与那国島と西表島（沖縄県）との間の海域を南西進したものと、それぞれ同一である。

防衛省・自衛隊は、海上自衛隊第12護衛隊所属「うみぎり」（呉）、第15護衛隊所属「おおよど」（大湊）、第3ミサイル艇隊所属「おおたか」（佐世保）、第1航空群所属「P-1」（鹿屋）及び第4航空群所属「P-1」（厚木）により、警戒監視・情報収集を行った。

ステレグシチー級フリゲート（艦番号「333」）



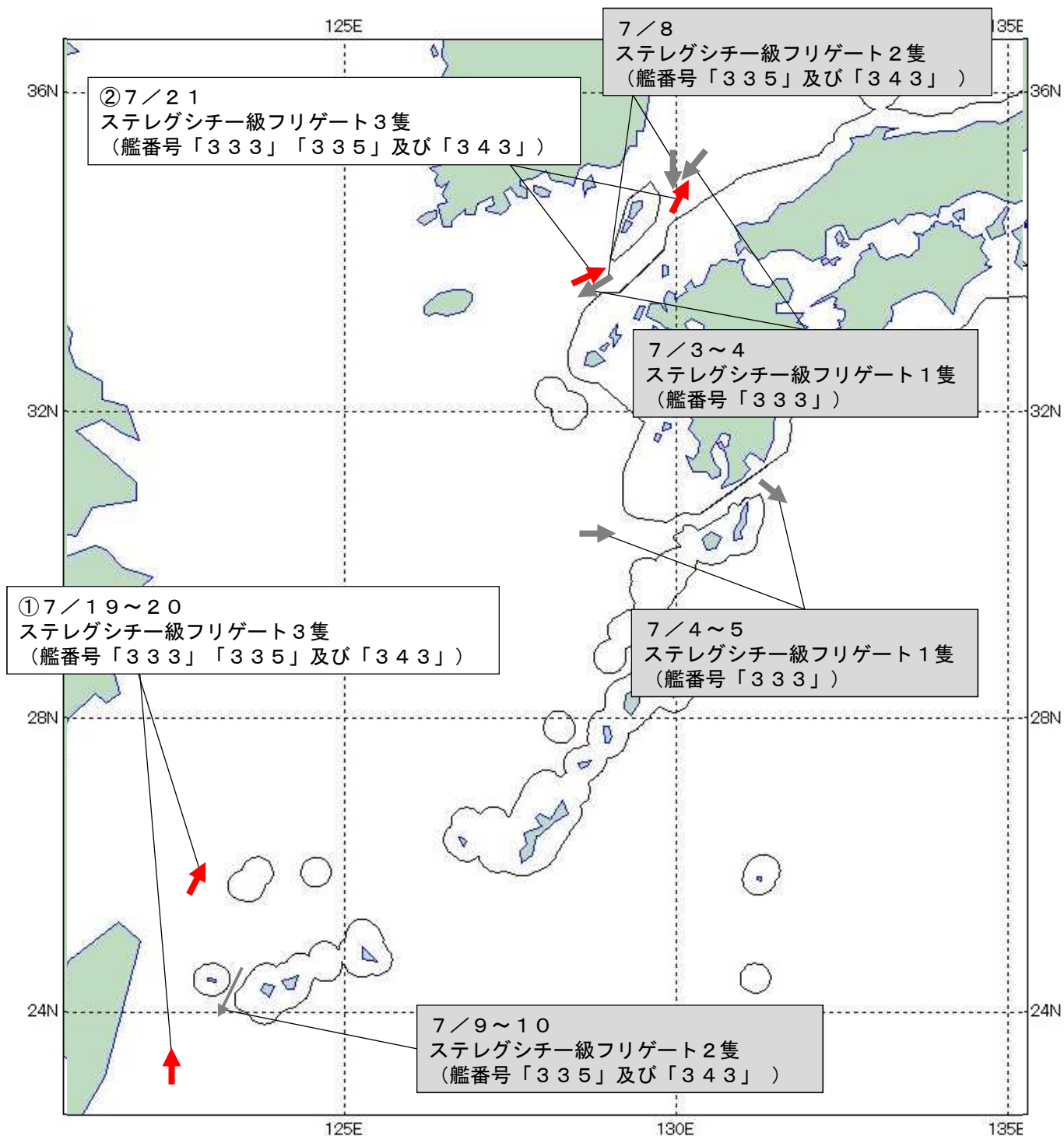
ステレグシチー級フリゲート（艦番号「335」）



ステレグシチー級フリゲート（艦番号「343」）



行 動 概 要



→ : ロシア海軍艦艇

□ : 今回公表

■ : 既公表